

春木川水系河川整備計画(変更原案)

(参考資料)

目次

第1章 河川整備計画の目標に関する事項.....	- 1 -	第2章 河川整備の実施に関する事項.....	- 32 -
第1節 流域及び河川の概要.....	- 1 -	第1節 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川 管理施設の機能の概要.....	- 32 -
1. 流域の概要.....	- 1 -	1. 耐震・津波対策.....	- 32 -
2. 流域の特性.....	- 2 -	2. 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持.....	- 33 -
3. 河川の特性.....	- 15 -	3. 河川環境の整備と保全.....	- 33 -
第2節 河川整備の現状と課題.....	- 17 -	第2節 河川の維持の目的、種類及び施行の場所.....	- 36 -
1. 治水の現状と課題.....	- 17 -	1. 河川管理施設.....	- 36 -
2. 河川の利用及び河川環境の現状と課題.....	- 20 -	2. 許可工作物.....	- 36 -
第3節 流域の将来像.....	- 23 -	3. 河川空間の管理.....	- 36 -
第4節 河川整備計画の目標.....	- 29 -	第3章 その他河川整備を総合的に行うために必要な事項.....	- 37 -
1. 洪水、高潮等による災害の発生の防止または軽減に関する目標.....	- 29 -	第1節 地域や関係機関との連携に関する事項.....	- 37 -
2. 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標.....	- 29 -	第2節 河川情報の提供に関する事項.....	- 38 -
3. 河川環境の整備と保全に関する目標.....	- 30 -		
4. 河川整備計画の計画対象区間.....	- 30 -		
5. 河川整備計画の計画対象期間.....	- 30 -		
6. 本計画の適用.....	- 30 -		

平成26年7月

大阪府

第1章 河川整備計画の目標に関する事項

第1節 流域及び河川の概要

1.流域の概要

春木川水系は、その源を大阪府岸和田市の神於山（標高296.4m）に発し、山間部を北方向に流下し、尾生町付近で北西方向に曲流し大阪湾に注ぐ、流域面積14.4km²、流路延長約10.0km（うち指定延長5.7km）の二級河川です（図-1.2参照）。

下流域は市街化が進み、工場や住宅が密集しています。中流域は住宅地が広がり、沿川では春木川緑道が整備されるなど、緑が多いエリアとなっています。上流域も住宅地が広がり、久米田池や久米田古墳群など歴史的資産が多く見られます。

全流域が岸和田市に包括されています。また、流域内には55箇所のため池があり、灌漑用水として利用されています。

水系名	河川名	河川延長	流域面積
春木川	春木川	5.7km	14.4km ²



図-1.1 春木川流域位置図

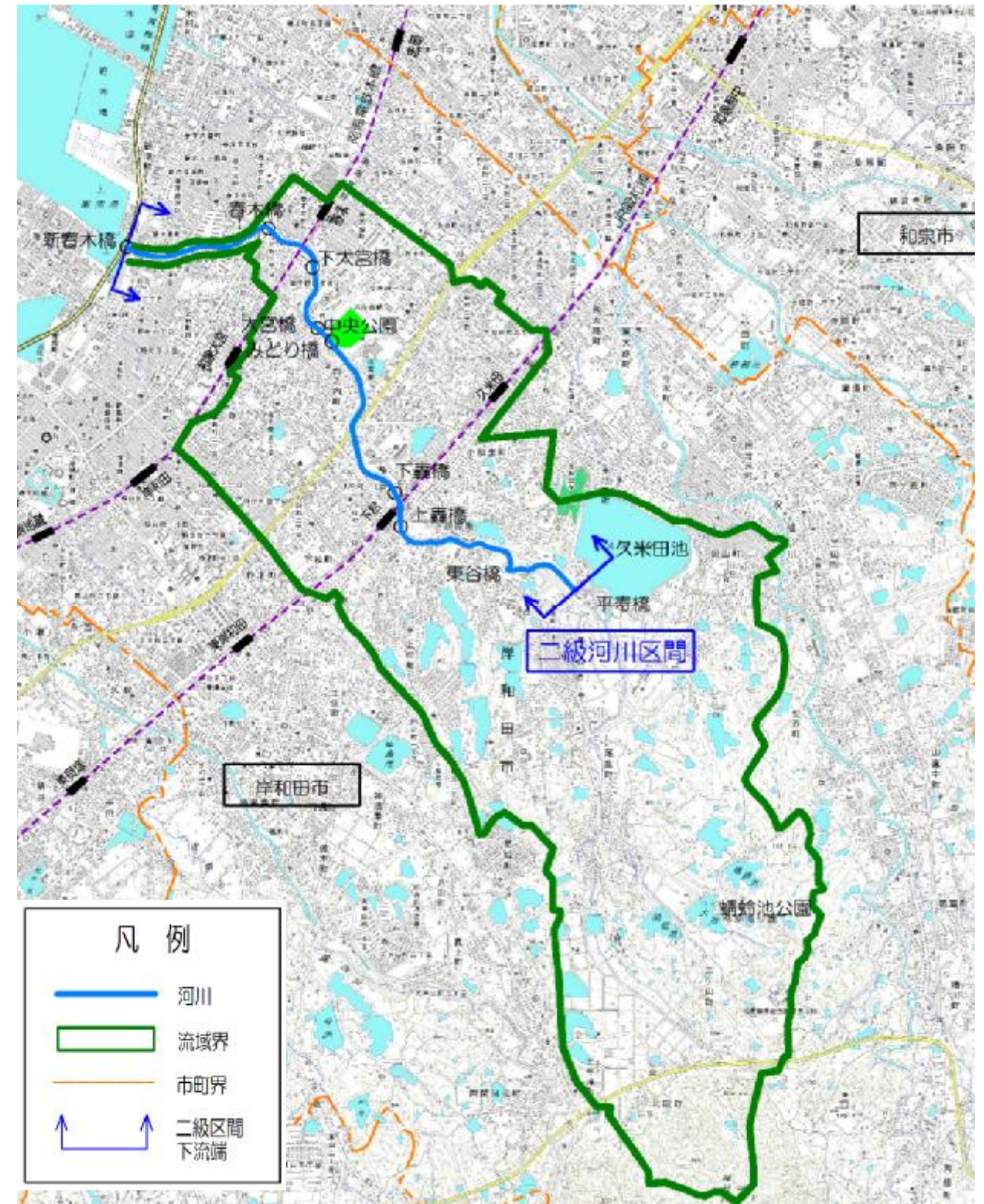


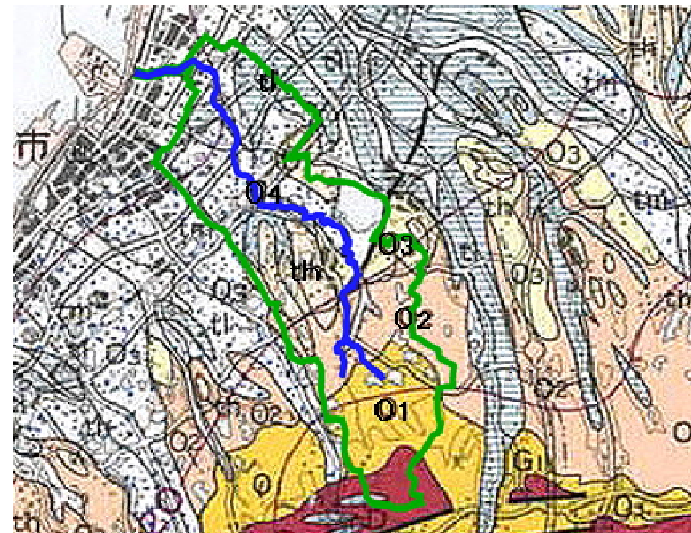
図-1.2 春木川流域

2.流域の特性

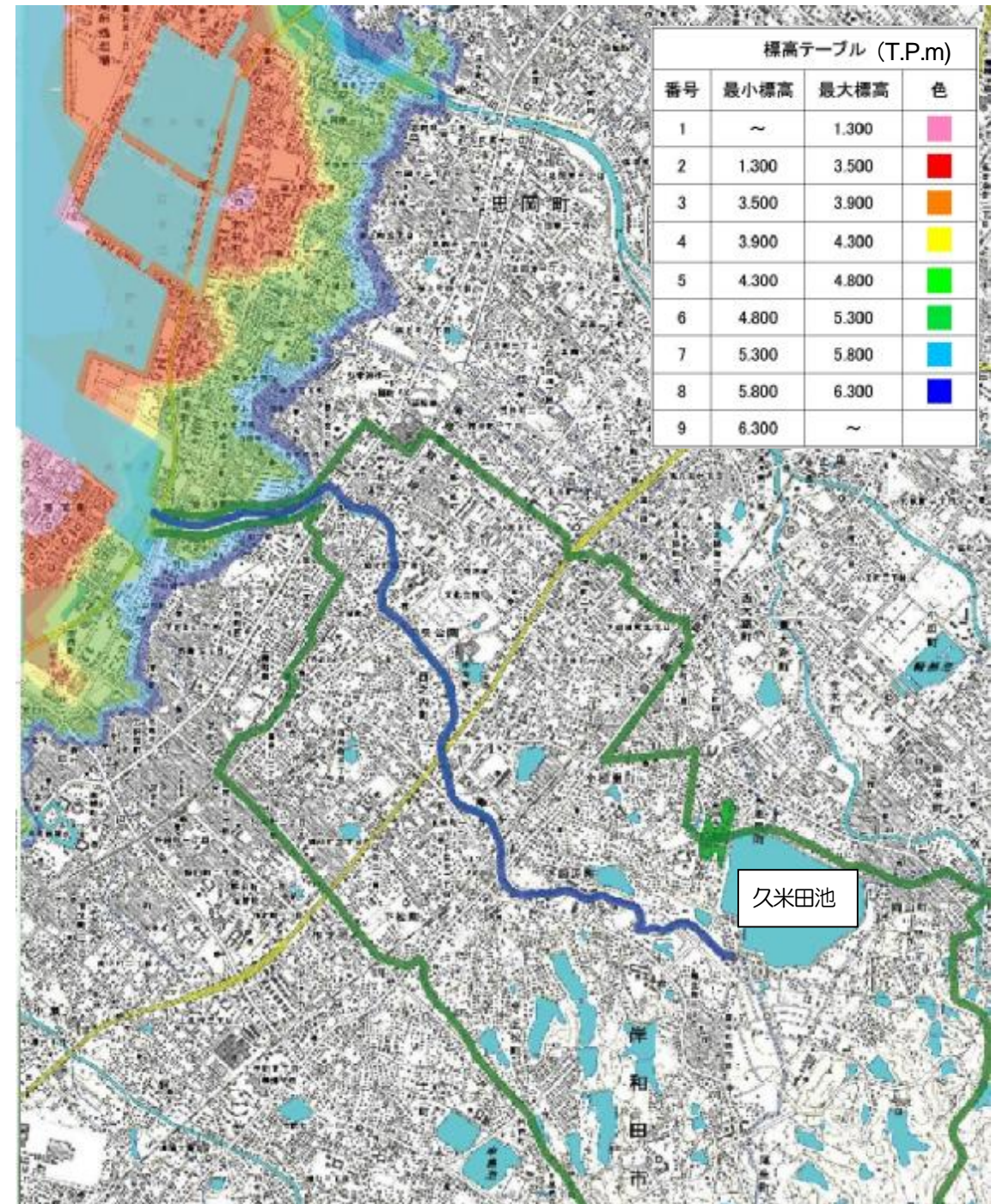
(1) 自然環境特性

1) 地形・地質

春木川水系の地形は、上流に和泉葛城連山の前山である神於山^{いずみかつらぎれんざん}を源流とする山地と、その下流に泉南台地が緩やかに広がり、大阪湾沿岸の平地に続きます。標高は、流域界を成す神於山が300m程度、丘陵地が100~50m、平地は50~5mとなっています。地質は、上流部が大阪層群、下流部が沖積層、他に泉南酸性岩類等から構成されています(図-1.3参照)。



下流区間標高分布図



表層地質図

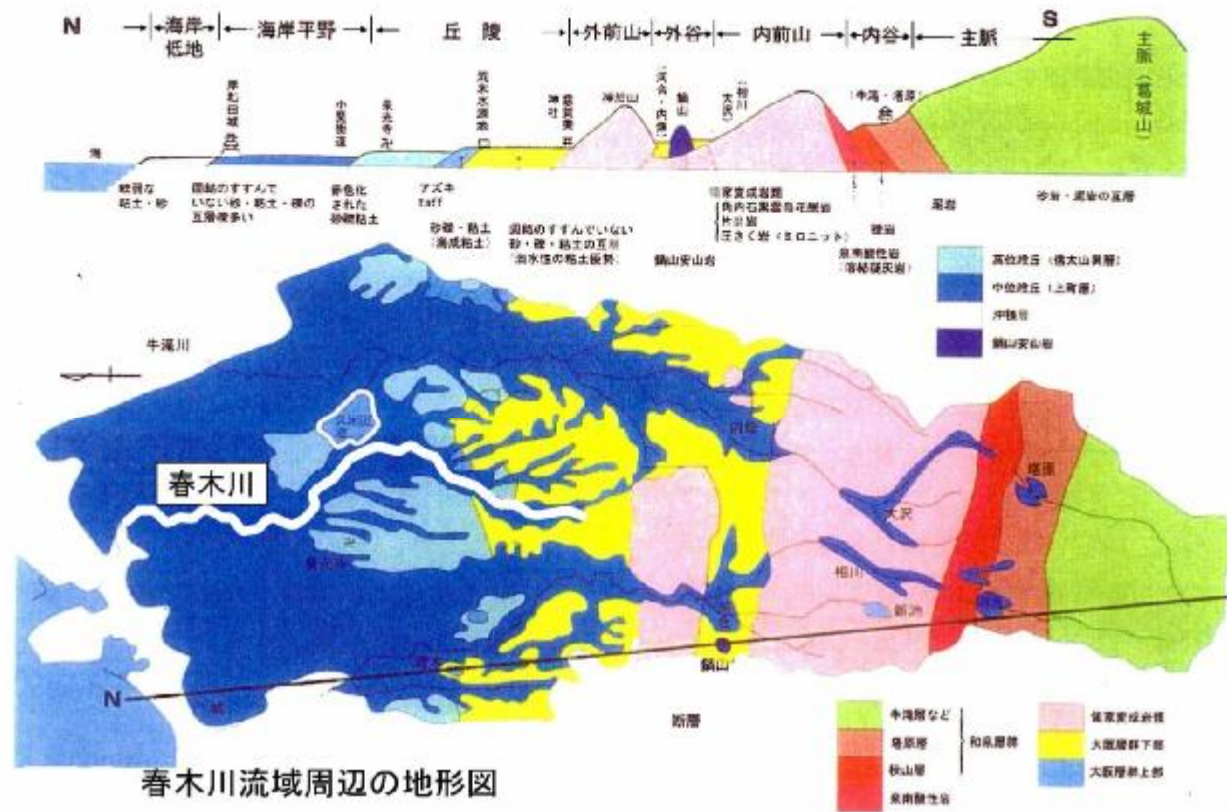


図-1.3 流域の地質図

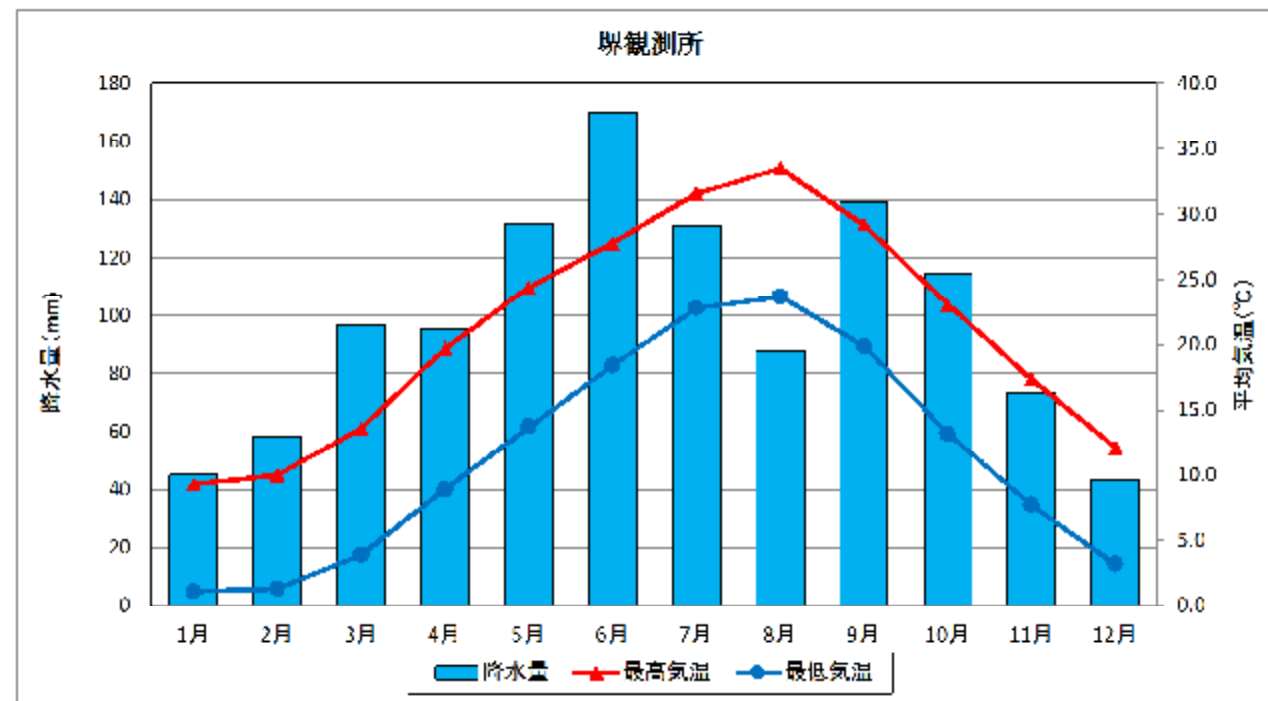
出典:「地質図(1999)」(通商産業省地質調査所)

図-1.4 春木川流域周辺の地形図

2) 気候

気候は、温暖で降水量の少ない瀬戸内式気候に属し、流域に近接する大阪管区気象台堺観測所における昭和56年から平成22年までの年平均気温は約16.0℃と温暖で、年平均降水量は約1,190mmであり、降水量を月別で見ると、梅雨期の6月が約170mm、台風期の9月が約140mmと多くなっています。

また、年平均降水量が全国平均(約1,700mm)と比較して少ないことから、流域内の55箇所のため池は、昔から、灌漑用水を安定的に供給し、干ばつによる農作物の被害を軽減するという利水上の重要な役割を果たしてきました(図-1.5 参照)。



出典：気象庁HP

図-1.5 堺観測所の気温と降水量(平年値)

3) 自然環境

①魚類

春木川では、**10科18種**の魚類が確認されています。全川を通してコイ、ギンブナ等の止水域や緩流域を好む種が多く、東谷橋付近では水質の改善に伴い以前確認されなかった環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類に指定されているメダカも見られます。また、岸和田市営中央公園付近では大阪府レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類に指定されているドジョウも確認されています。

感潮区間では、ボラやスズキが確認され、また春木橋下流付近では外来種であるブルーギル、ブラックバスも確認されています(表-1.1 参照)。

また、**29科35種**の底生動物が確認され、以前は確認されなかった、環境省レッドリストで準絶滅危惧に指定されているマシジミやヒラマキミズマイマイなどが見られます。

表-1.1 春木川で確認された魚類

目名	科名	属名	学名	環境省 レッドリスト	二次林	大阪府 レッドデータブック	外来種	新たに確認 された魚類 (H22年度以降)
ニシン目	ニシン科	マイワシ	<i>Sardinops melanostictus</i>					○
コイ目	カタクチイワシ科	カタクチイワシ	<i>Fuguiculus japonicus</i>					○
		ニイ	<i>Cyprinus carpio</i>					○
ダツ目	メダカ科	メダカ	<i>Carrasius auratus longidorsif</i>					○
		メダカ	<i>Pseudorasbora parva</i>					○
	メダカ	<i>Oreochromis elongatus elongatus</i>	絶滅危惧Ⅱ類				○	
	メダカ	<i>Megalopterus elongatus</i>	絶滅危惧Ⅱ類				○	
	メダカ	<i>Corydoras latipes</i>	絶滅危惧Ⅱ類				○	
	メダカ	<i>Monopterus albus</i>	絶滅危惧Ⅱ類				○	
	メダカ	<i>Parachanna obscura</i>	絶滅危惧Ⅱ類				○	
	メダカ	<i>Parachanna obscura</i>	絶滅危惧Ⅱ類				○	
	メダカ	<i>Parachanna obscura</i>	絶滅危惧Ⅱ類				○	
	メダカ	<i>Parachanna obscura</i>	絶滅危惧Ⅱ類				○	
スズキ目	スズキ科	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>				○	
バス目	バス科	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus</i>				○	○
		ブラックバス	<i>Micropterus dolomieu</i>				○	○
ハゼ目	ハゼ科	ボラ	<i>Mugil cephalus cephalus</i>					○
		メナダ	<i>Oreochromis mossambicus</i>					○
		ウロハゼ	<i>Oligosarcus olivaceus</i>					○
		マハゼ	<i>Acanthopagrus laticaudatus</i>					○
アベハゼ	<i>Megalobrama alba</i>					○		
ウミノボリ(型不明)			<i>Pharyngodon acuminatus</i>				○	

出典：「河川水辺の国勢調査 H21」(国土交通省)

「河川水辺の国勢調査 H21」での確認種一覧の魚類は、現在(H25)も確認されている。その他にハゼ科のウキゴリも見られる。

聞き取り調査：きしわだ自然資料館

②植生

河口から春木橋にかけての感潮区間では、河道内の植生はほとんど見られない状況です。感潮区間より上流部の河道内の植生は、全川を通して河道内にクサヨシ、ミゾソバ等が多く見られ、上轟橋～平寿橋では、大阪府レッドデータブックで絶滅危惧Ⅰ類に指定されているフジバカマやカワヂシャの湿生植物が確認されています。

流域では、蜻蛉池周辺に二次林であるモチツツジ-アカマツ群集が分布しています。また、久米田池の周辺には、ケヤキ-ムクノキ林や竹林が見られます(図-1.6 参照)。

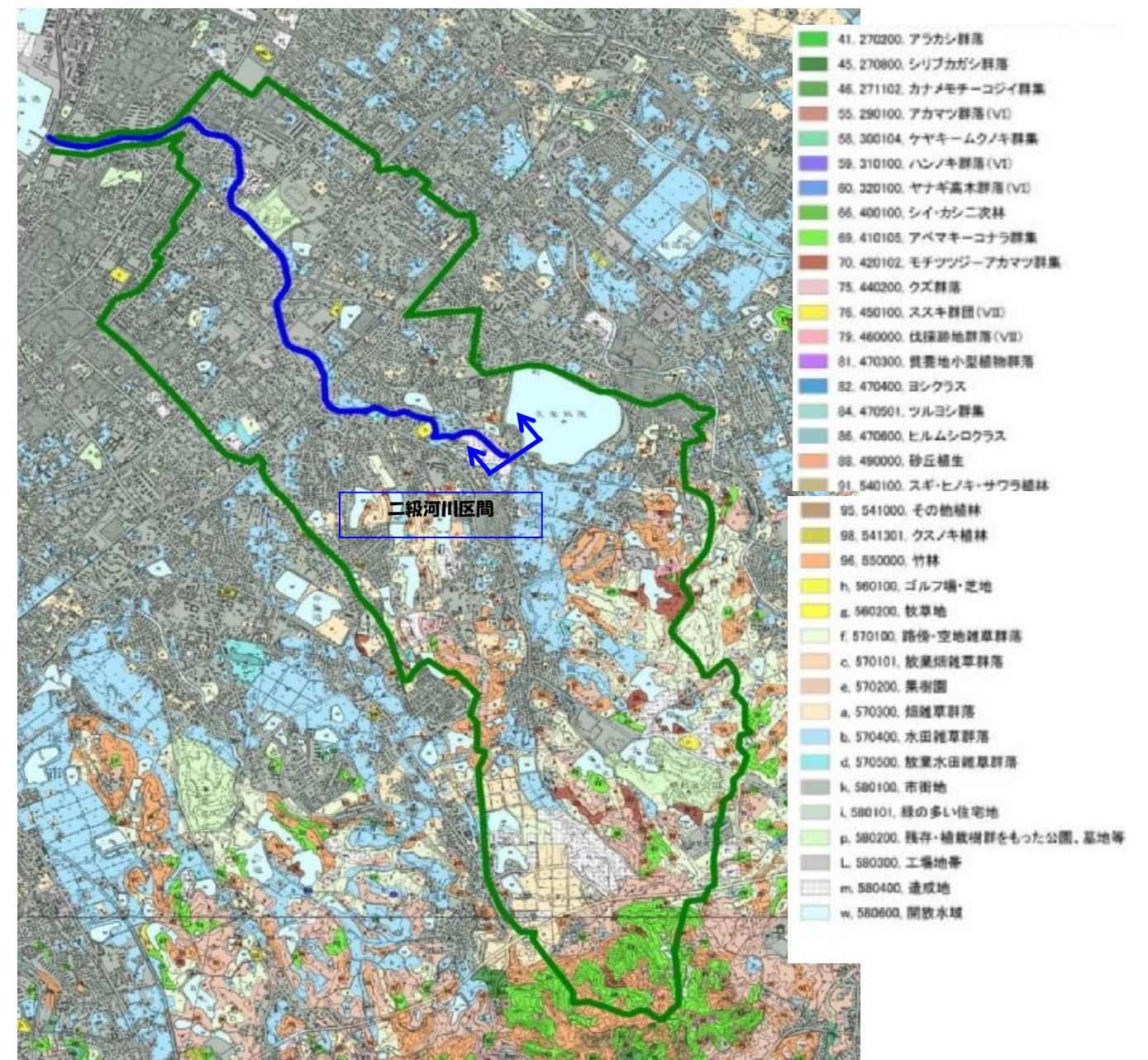


図-1.6 植生図

出典：「植生調査 H22」(環境省)

③鳥類

鳥類は、サギ類やセキレイ類が全川に見られるほか、大阪府レッドデータブックで準絶滅危惧に指定されているクサシギ、イソシギ、カワセミ、環境省レッドリストで準絶滅危惧に指定されているハイタカも確認されています(表-1.2 参照)。

表-1.2 春木川で確認された鳥類

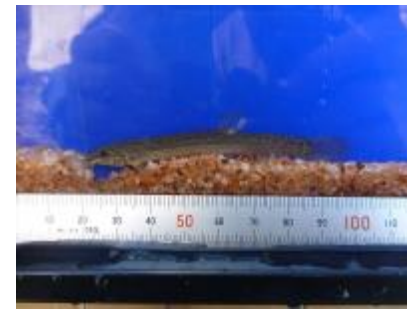
No.	分類				貴重種 ^{※1} の抽出			確認場所 ^{※2}					備考
	目名	科名	種名	学名	①環境省レッドリスト	②近畿レッドリスト	③大阪府レッドリスト	河口～六連橋 (A)	六連橋～上轟橋 (A)	上轟橋～平寿橋 (A)	中央公園 (A)	久米田池 (A)	
1	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ	<i>Podiceps ruficollis</i>									○
2	ペリカン目	ウ科	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>			要						○
3	コウノトリ目	サギ科	ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>				○					
4			ダイサギ	<i>Egretta alba</i>									○
5			コサギ	<i>Egretta garzetta</i>					○	○			○
6			アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>				○	○	○			○
7	カモ目	カモ科	マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>									○
8			アイガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>						○			○
9			カルガモ	<i>Anas poecilorhyncha</i>					○				○
10			コガモ	<i>Anas crecca</i>					○	○			○
11			ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>				○					○
12			ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>				○					○
13	タカ目	タカ科	トビ	<i>Milvus migrans</i>				○					
14			ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>	準	準	要	○					
15	チドリ目	チドリ科	コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>					II	○	○		○
16			ケリ	<i>Microsarcops cinereus</i>					要				○
17		シギ科	ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>					準				○
18			クサシギ	<i>Trinaga ochropus</i>					準	○			
19			イソシギ	<i>Trinaga hypoleucos</i>					準	○			
20		カモメ科	ユリカモメ	<i>Larus ridibundus</i>				○	○				○
21			コアジサシ	<i>Sterna albifrons</i>	II	II	II	○					○
22	ハト目	ハト科	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>						○	○		○
23			ドバト*	<i>Columba livia</i>				○	○				○
24	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>					準		○		
25	スズメ目	ツバメ科	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>						○			○
26		セキレイ科	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>						○	○		
27			ハウセキレイ	<i>Motacilla alba</i>				○	○	○			○
28			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>				○	○	○			○
29		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>				○	○	○			○
30		モズ科	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>						○			○
31		ヒタキ科	ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>						○	○		
32			ウグイス	<i>Cettia diphone</i>						○	○		
33		シジュウカラ科	シジュウカラ	<i>Parus major</i>						○			
34		メジロ科	メジロ	<i>Zosterops japonica</i>									○
35		ホオジロ科	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>									○
36			ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans</i>							○		
37			アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>						○	○		
38		アトリ科	カワラヒワ	<i>Carduelis sinica</i>						○	○		
39		ハタオリドリ科	スズメ	<i>Passer montanus</i>				○	○	○			○
40		ムクドリ科	ムクドリ	<i>Sturnus cineraceus</i>				○	○	○			○
41		カラス科	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>				○	○	○			

※1) P3参照
 ※2) 出典資料: (A)二級河川春木川「こどもの水辺」整備計画委託報告書、平成13年3月、大阪府岸和田土木事務所

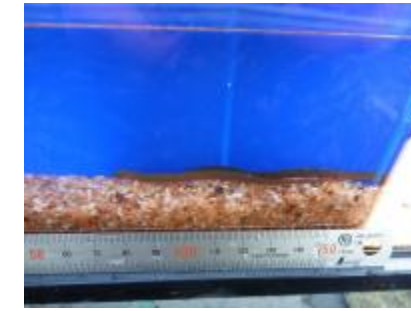
出典: 春木川水系河川整備計画(案) 参考資料 H19

・確認された鳥類は、現在(H25)も確認されている。
 ・近年、春木川沿いでアオサギコロニーが確認されている。

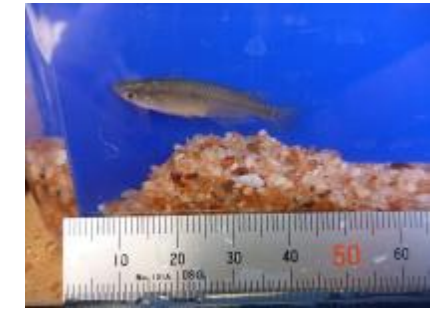
聞き取り調査: きしわだ自然資料館



ドジョウ



タウナギ



メダカ



ウロハゼ



ブルーギル



マシジミ

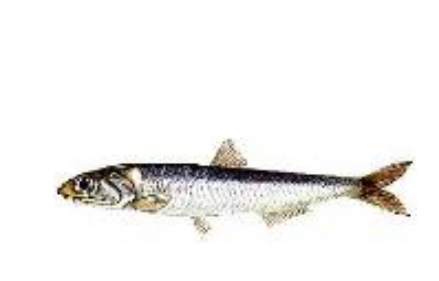
写真の出典: 二級河川春木川外 河川水辺環境調査委託業務 H21



ボラ



マイワシ



カタクチイワシ



タモロコ



モツゴ



アベハゼ



スズキ



ギンブナ



コイ

写真の出典: 大阪府立環境農林水産総合研究所 HP

図-1.7(1) 春木川流域で見られる主な動植物



フジバカマ



カワチシャ



クサヨシ



ミソバ

写真出典：Weblio 辞書



モチツツジ-アカマツ群集

写真出典：六甲山系植生電子図鑑

図- 1.7(2) 春木川流域で見られる主な動植物



ハイタカ



イソシギ



カイツブリ



コアジサシ



カワセミ



カワウ



キジバト



クサシギ



ツバメ



ヒヨドリ



ムクドリ



マガモ



モズ



ユリカモメ



アオサギ

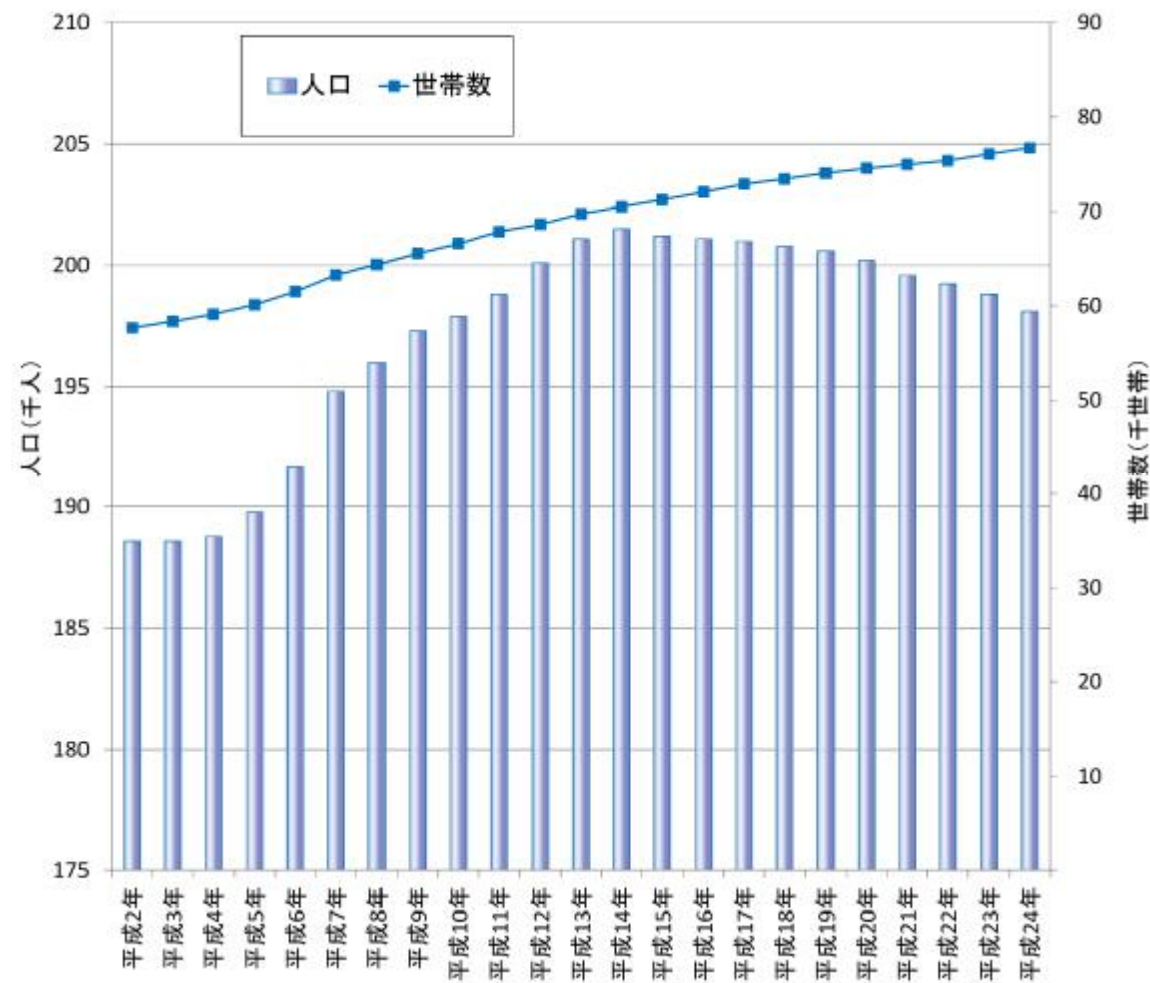
写真の出典：H16 文部科学省・教育情報共有化促進
モデル事業尾道市情報教育研究会「デジタル図鑑」

図- 1.7(3) 春木川流域で見られる主な動植物

(2) 社会環境特性

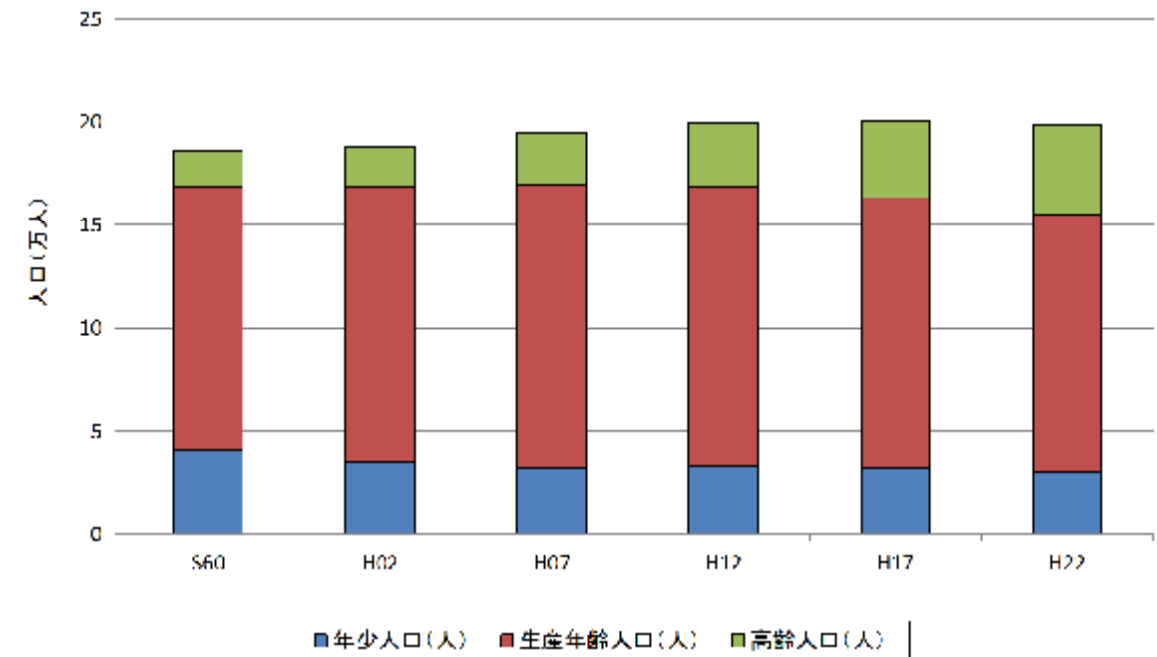
1) 人口

流域である岸和田市の人口は、平成24年度末時点で、約19.8万人、世帯数は約7.6万世帯となっています(図-1.8参照)。平成7年頃から平成14年頃までは、関西国際空港や大阪湾ベイエリアの開発に伴う住宅開発の影響もあって人口は増加傾向にありましたが、近年はやや減少傾向です。



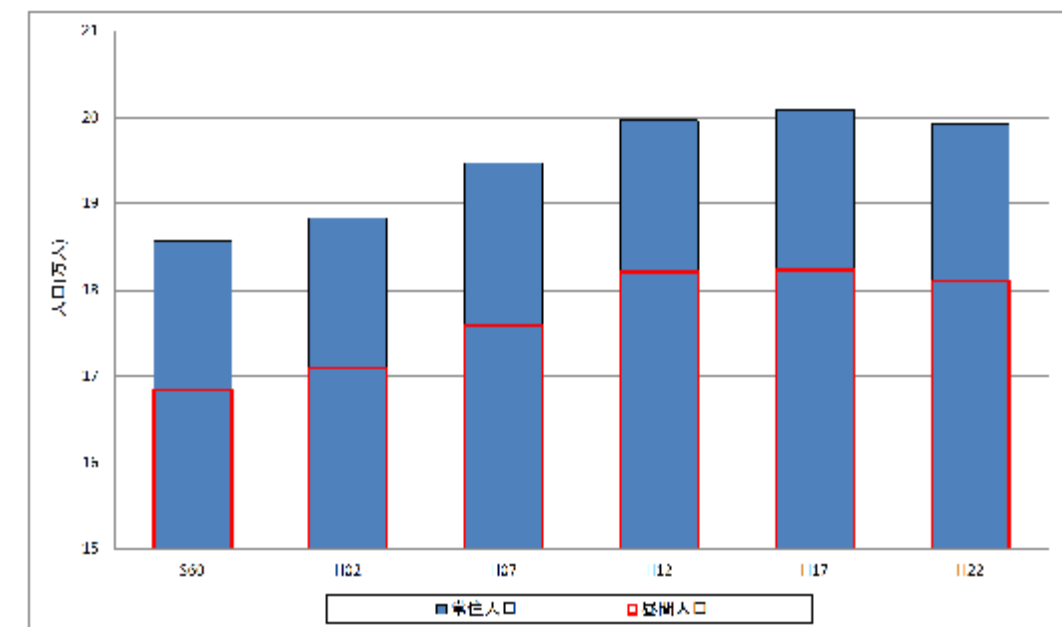
出典：岸和田市HP

図 1-8 岸和田市の人口の推移



出典：年齢別人口の推移 (国勢調査)

図- 1.9 年齢別人口の推移

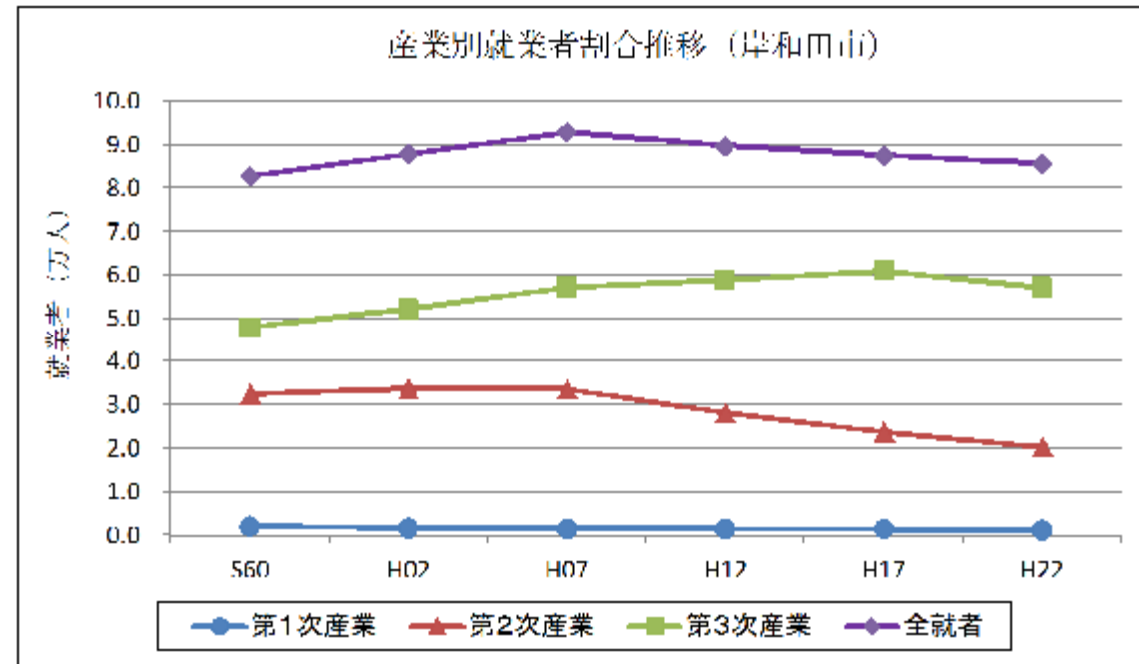


出典：常住人口と昼間人口 (国勢調査)

図- 1.10 常人口と昼間人口

2) 産業

平成22年国勢調査時点の就業者人口は、卸売り、飲食店、サービス業等の第3次産業が72.8%、製造業等の第2次産業が25.9%を占め、農業等の1次産業は1.3%となっています(図-1.11 参照)。

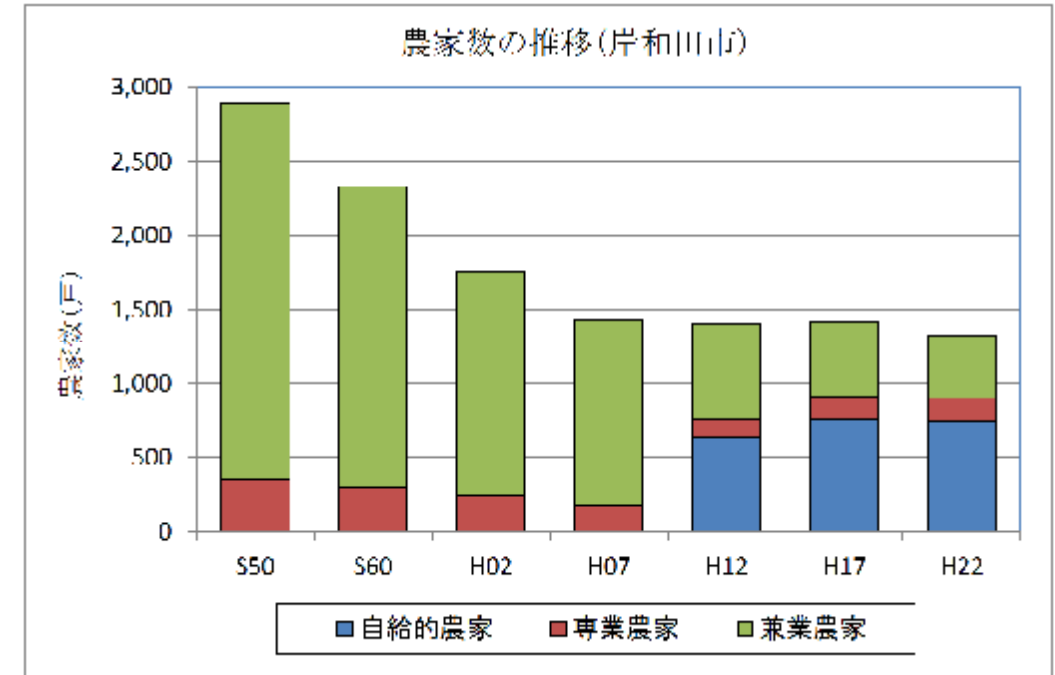


出典：大阪府統計年鑑「市町村、労働力状態、産業(大分類)別15歳以上就業者数」

図-1.11 産業別就業者割合推移

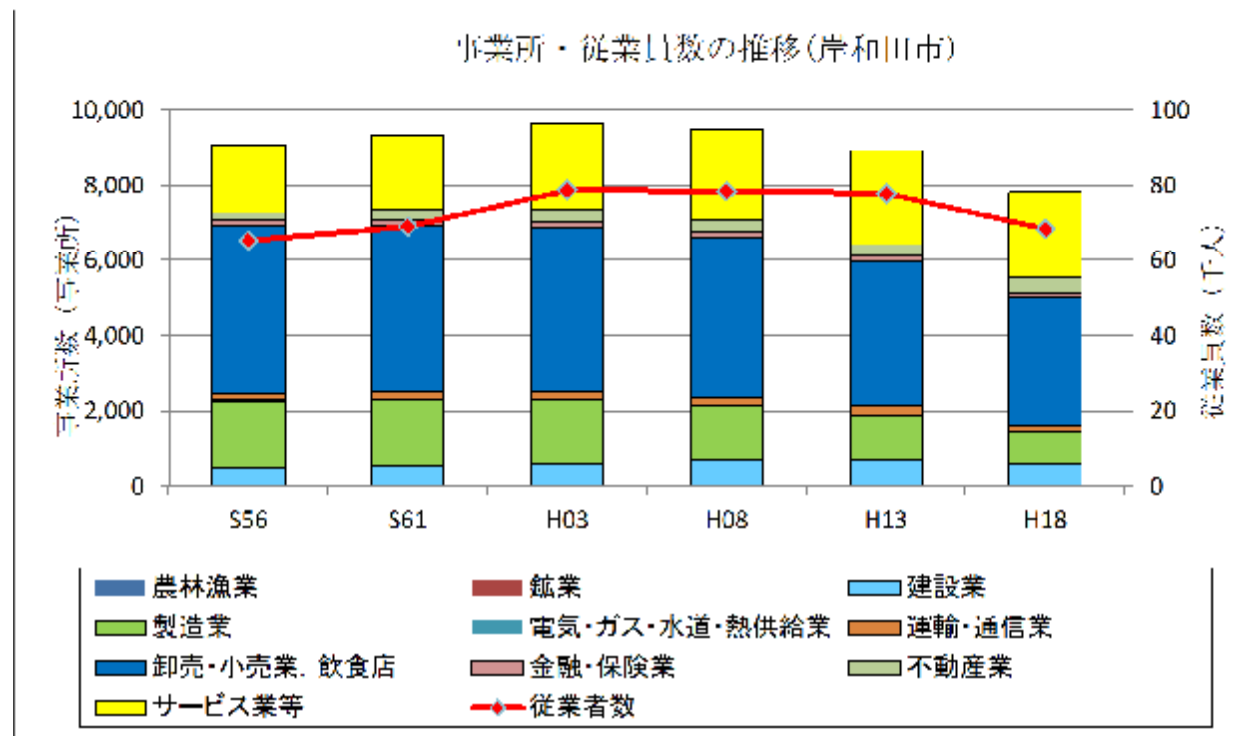
①農業

岸和田市の農業は、野菜や果実など都市型の農業形態をとっています。特産物として、野菜は、たまねぎ、春菊、ねぎ、水なすなど多数あり、特に水なすは、漬物などの加工品への利用もあり有名です。また、果実については、温州みかん、特産物として有名な桃などもあります。



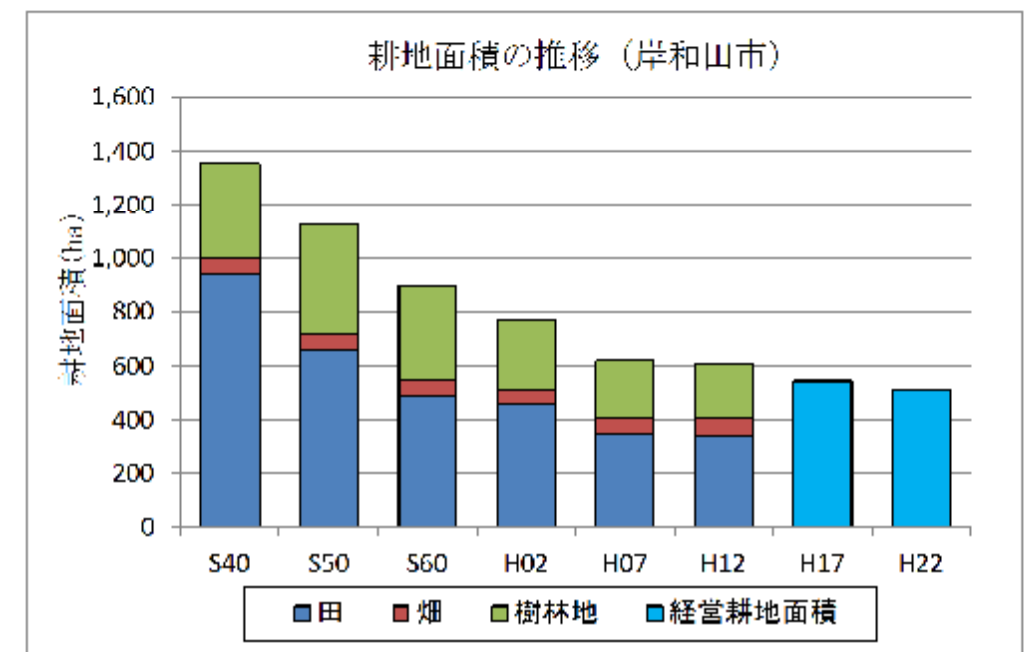
※「兼業農家」：世帯員のなかに兼業従事者が1人以上いる農家をいう。
 ※「自給的農家」：経営耕地面積30a未滿かつ農産物販売金額が年間50万円未滿の農家をいう。
 出典：農業センサス

図-1.13 農家数の推移



出典：総務省統計局「事業所・企業統計調査」

図-1.12 事業所・従業員数の推移



出典：農林水産省「農業センサス」

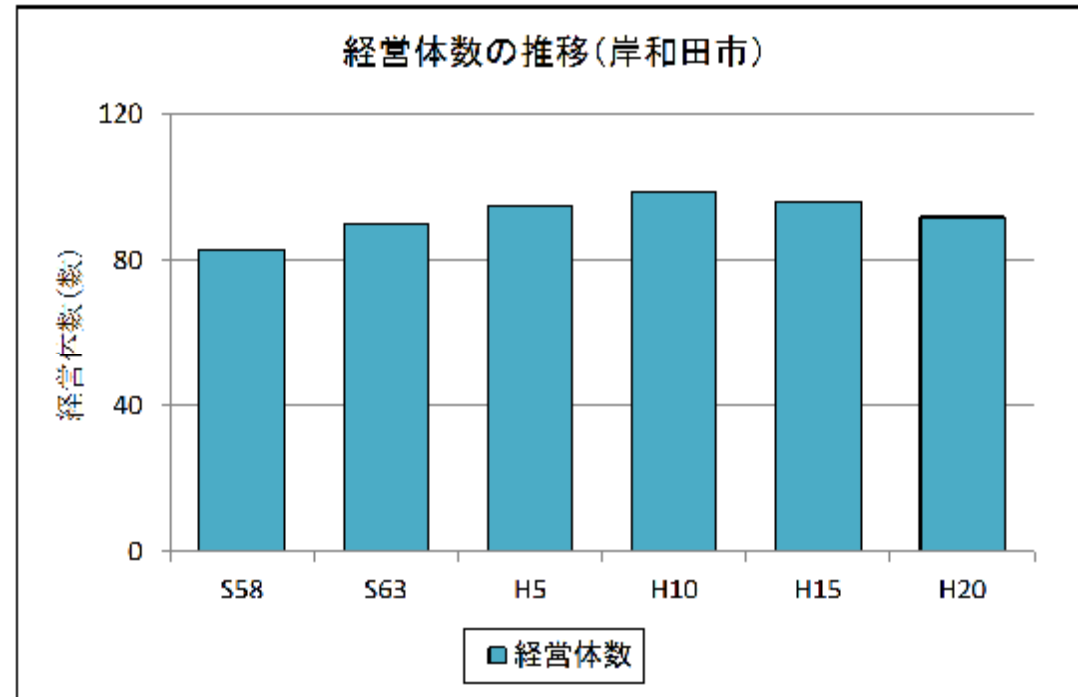
図-1.14 耕地面積の推移

②漁業

また、春木川河口部には、岸和田漁港があり、主にいわし、このしろ、いかなごなどの漁獲が見られます。

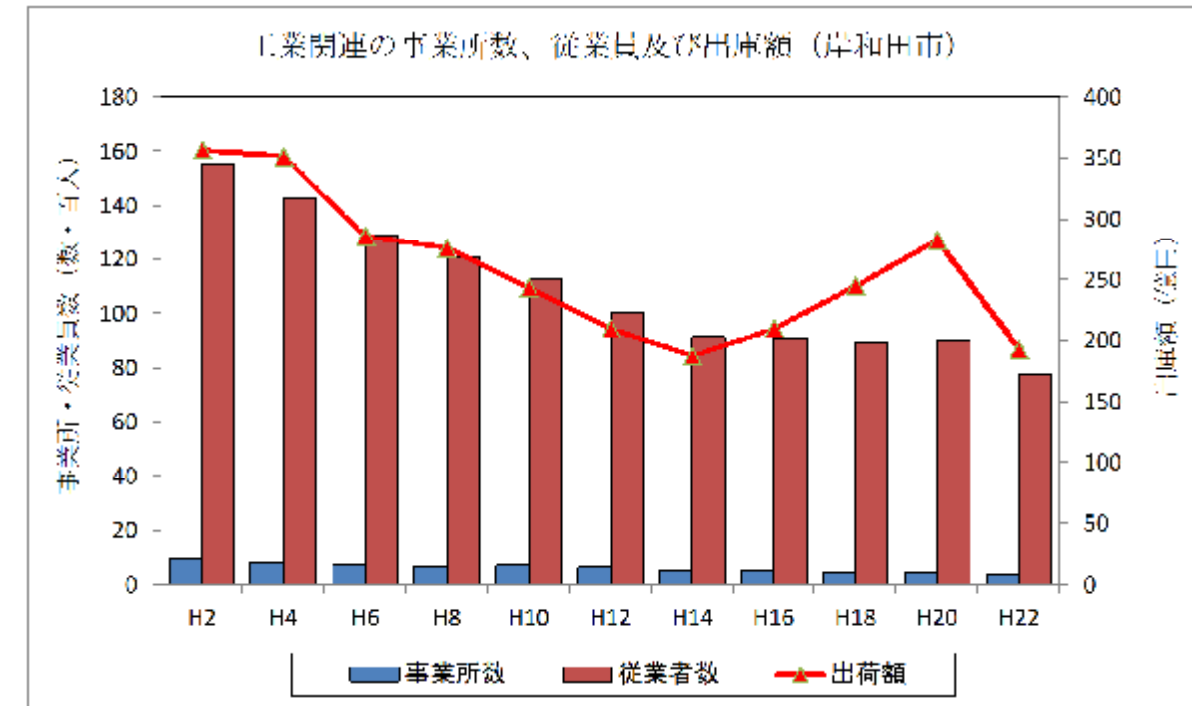
③工業

工業については、繊維産業や、機械金属工業が大きな比率を占めています。また、桐ダンスは国の伝統工芸品に指定されています。他にも、眼鏡レンズ、酒造などの産業があります。



出典：農林水産省「漁業センサス」

図-1.15 経営本体の推移



出典：経済産業省「工業統計調査事業所」

図-1.16 工業関連の事業所数、従業員数及び出荷数

3) 土地利用

岸和田市の土地利用は、平成25年1月時点では、宅地が約34%、農地(田及び畑)が約23%、山林が約10%、その他が約33%となっています(表-1.3 参照)。

土地利用の変遷は、昭和40年に対して、平成22年10月時点のDID地区の面積は約3倍、人口は約2倍に増加しており、都市化の進展が伺えます。平成22年10月時点では、岸和田市の面積の約36%がDID地区となっており、人口の約90%がDID地区に集中しています。

上流のおぶくめだちいき尾生久米田地域では平成7年度から23年度まで「尾生久米田特定土地区画整理事業」により沿川の住宅開発が進められました。

表 1-3 地目別面積表 H25.1 時点

地目	地積 (㎡)	(%)
宅地	17,595,783	33.7
田	6,366,520	12.2
畑	5,731,881	11.0
山林	5,306,021	10.2
原野	291,909	0.6
雑種地	4,154,092	8.0
その他	12,727,767	24.3
計	52,173,973	100.0

出典：岸和田市 HP 固定資産税課

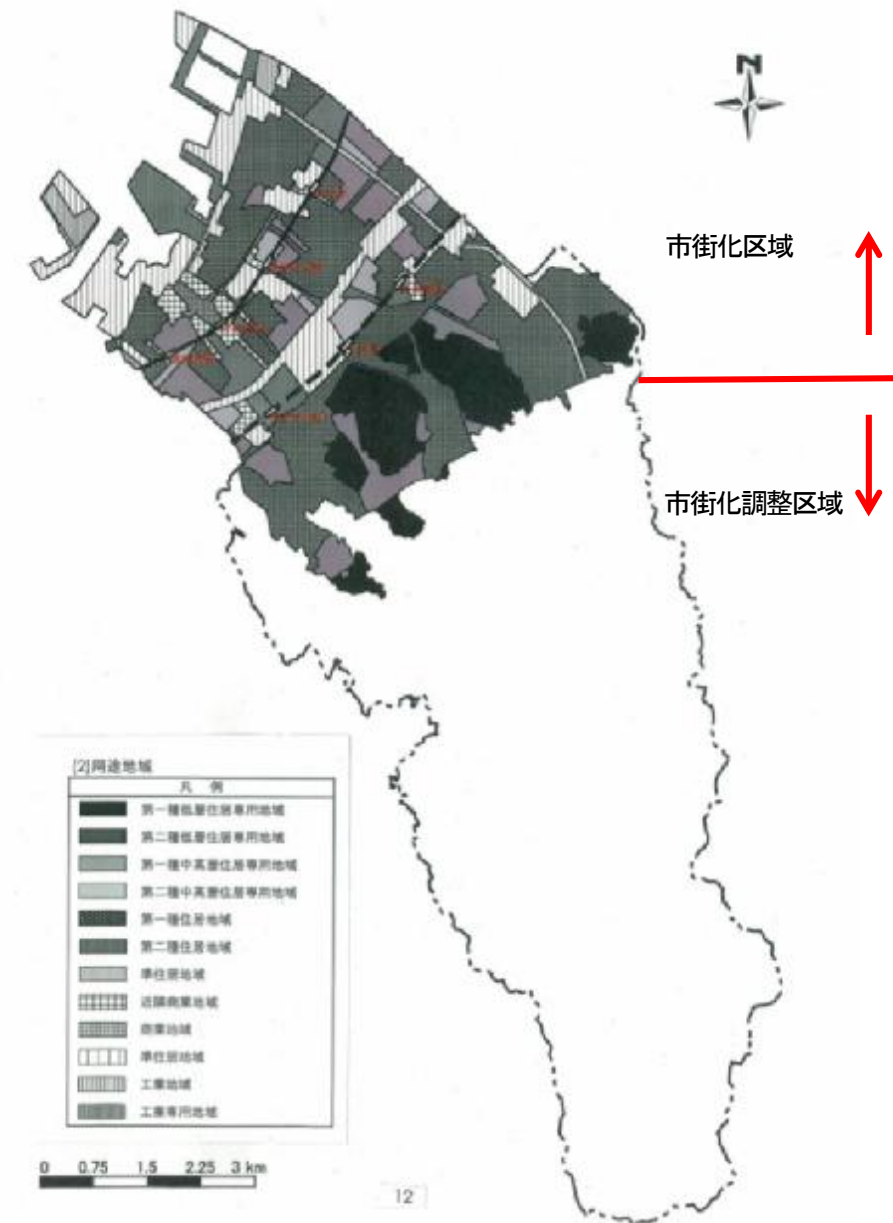
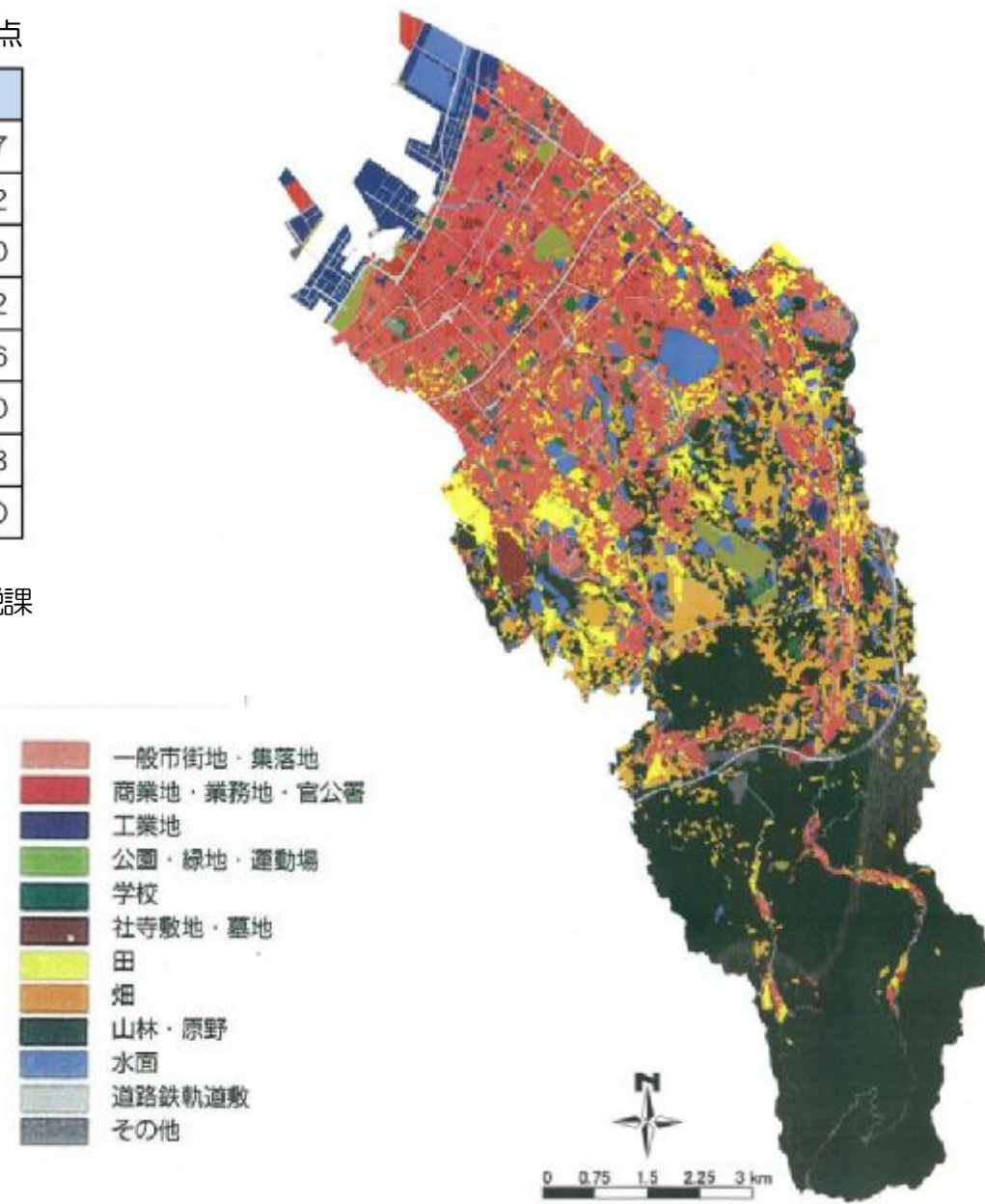
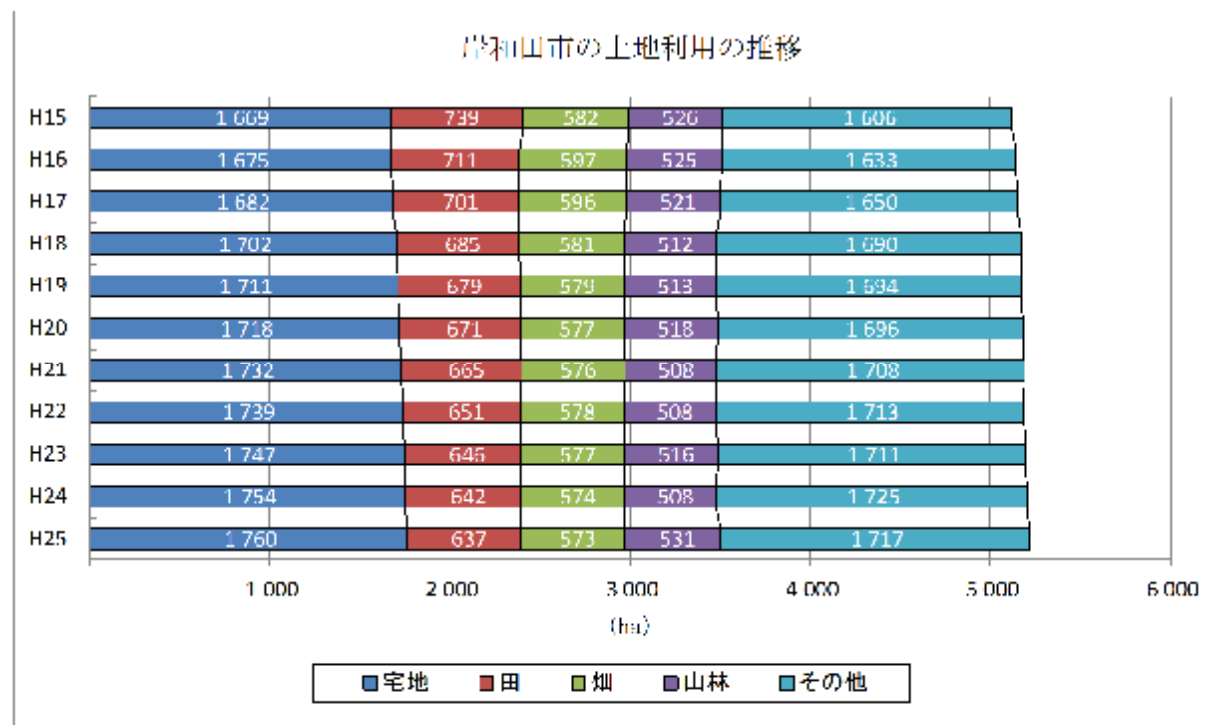


図-1.17 土地利用図

出典：地図でみる岸和田 岸和田市 HP



(注) 本表は、登記簿面積であり、水路・里道・河川は含まない。
その他には、原野・雑種地・ため池などを含む。

出典：大阪府統計年鑑「市町村別地目別民有地（固定資産課税台帳）」

図- 1.18 土地利用の推移

春木川流域

表- 1.4 ため池面積

	全面積	ため池面積	ため池面積比率
岸和田市	72. 24km ²	2. 1km ²	2. 9%
春木川流域	14. 4km ²	1. 0km ²	7. 2%

図上計測により算出



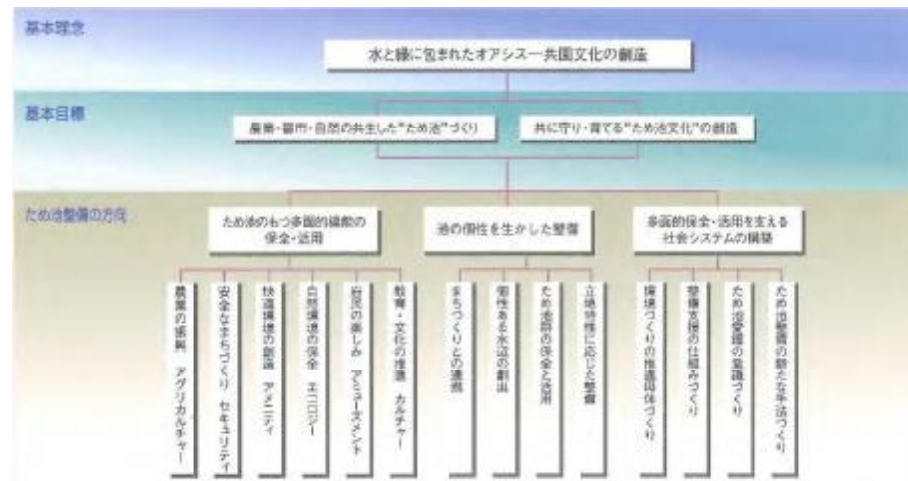
図- 1.19 春木川流域のため池位置図

出典：岸和田市環境計画

【農空間整備（オアシス整備事業） 「久米田池地区」パンフレット抜粋

〈オアシス構想とは〉

オアシス構想は「ため池」を農業用施設として活かしつつ、都市生活に“やすらぎ”と“うるおい”を与えるため、魅力ある地域を構成する貴重な環境資源として総合的に整備し、府民とともに地域環境づくりを進めていくものです。



この構想では「ため池」のさまざまな恩恵を享受している地域社会が、地域共有の貴重な資源である、ため池を地域住民と行政が一体となって共に保全・活用し、都市と自然の共生する水と緑に包まれた“都市のオアシス”を府下一円に広げることにより、新たな視点に立った環境づくりをめざしています。

21世紀初頭までに約200haの「水と緑のオアシス」の整備をめざし、平成8年度までに、24ヶ所、211haで整備を終了しています。

〈地域総合オアシス整備事業とは〉

ため池が広く点在している地域において、同一の河川の水系、あるいは用水系統を同じくする複数のため池を群として捉え、ため池堤体の改修、水と緑豊かなオアシスづくりのための整備を総合的に行い、ため池を活用した安全で環境にやさしい大阪のまちづくりを進めます。事業主体は大阪府です。



- 堤高:4.4m
- 貯水量:157万t
- 周囲:2,650m
- 滞水面積:45.6ha
- 事業期間:平成3年～平成14年
- 総事業費:27.8億円



〈整備内容〉

- ① 地域全体の安全なまちづくりのための整備（ため池防災）
 - ① ため池の改修、関連水路の整備、防災用水施設の整備
- ② 水と緑豊かなオアシスづくりのための整備（オアシス整備）
 - ① 親水施設の整備・・・遊歩道、遊びの広場、水とふれあう護岸の整備等
 - ① 水質保全のための整備・・・噴水の設置、水生植物の活用、流入水路の改善等
 - ① 生態系保全のための整備・・・生き物や野鳥に配慮した整備
- ③ 公共用地の創設のための整備
 - ① 池の浚渫土を集積した広場の造成

〈久米田池地区の事業について〉

「よみがえれ、自然と水辺文化」を基本構想として、「天平の歴史、地域のため池文化、優れた農風景を生かし、泉州の歴史と緑の拠点となる地」となるよう総合的な整備から維持管理までを住民と一体となって行います。

- 整備方針
- 1) 池周辺の歴史的景観・資源の活用と保全
 - 2) 現在の自然を最大限に保全し、水辺環境を復元
 - 3) 久米田池を中心としたアメニティ・コミュニティ空間の創造
 - 4) 池周辺の車交通との競合を緩和し、多くの人々が楽しめる水辺整備の推進

4) 歴史・文化・観光

「春木」という地名¹⁾の語源は、「^は墓る」にあるといわれ、「新たに開墾された所」という意味になり、平安時代後期に開墾され、土地区画がなされたと考えられています。また、春木川は旧春木町と旧岸和田市が合併する以前の境界です。

春木川の周辺は、戦時中も大きな空襲を受けなかったため、多くの文化財があります(図-1.20、表-1.5 参照)。上流部には久米田池(行基の発願で730年頃作られたとされる泉州随一の大池)を中心として、久米田古墳群があり、下流部には、国指定の重要文化財である兵主神社本殿など仏閣等があります。その他にも、流域内には、府営蜻蛉池公園、市営中央公園など自然に親しめる大規模な公園が整備されています。また、観光資源としてまちの歴史をうかがわせる「岸和田だんじり会館」や「きしわだ自然資料館」、「岸和田城跡」があります。

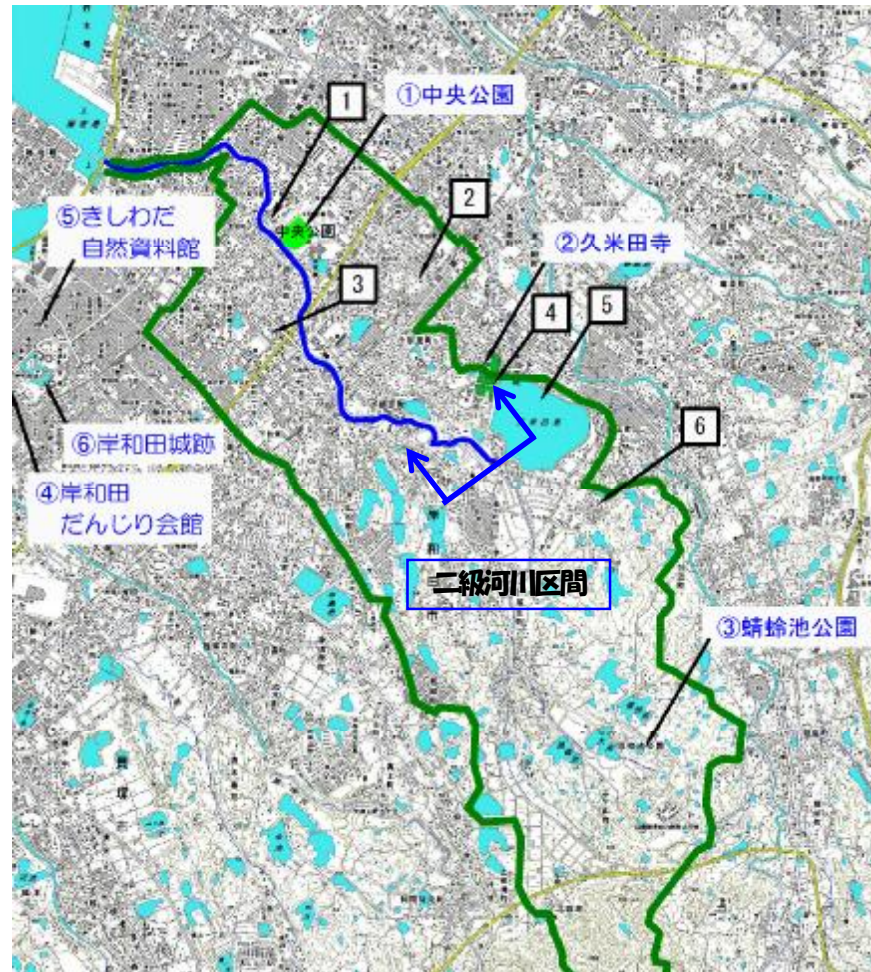


図-1.20 文化財位置図



中央公園



久米田寺



蜻蛉池公園



岸和田だんじり会館



きしわだ自然資料館



岸和田城跡



兵主神社本殿



無名塚古墳



久米田池

表-1.5 文化財保護法等による史跡、名勝、天然記念物

番号	指定	文化財名	種別	種別	所有者
1	国指定	兵主神社本殿	重要文化財	建築物	兵主神社
2	府指定	池田王子跡	史跡	文跡	個人
3	国指定	旧岸和田村尋常小学校校舎	登録文化財	建築物	岸和田市
4	市指定	志阿弥法師塚古墳	史跡	古墳	久米田寺
4	市指定	女塚	史跡	古墳	岸和田市
4	市指定	風吹山古墳	史跡	古墳	岸和田市
4	市指定	無名塚古墳	史跡	古墳	岸和田市
4	市指定	口吹山古墳	史跡	古墳	岸和田市
4	市指定	光明皇后塚古墳	史跡	古墳	久米田寺
5	府指定	久米田池	史跡名勝	ため池	岸和田市、久米田池財庫区
6	市指定	小金塚古墳	史跡	古墳	-

図-1.21 春木川流域の歴史、文化、観光施設

1) 参考とした資料：岸和田市HP

5) 交通

流域内における交通は、大阪府と和歌山県を結ぶ形で鉄道や幹線道路が整備されています。鉄道は、JR 阪和線、南海本線が並走し、幹線道路は阪和自動車道、国道 26 号（第二阪和国道）といった交通網が基幹を成しています。また、大阪湾沿岸の臨海工業地の発達等による交通量の増加や関西国際空港へのアクセスに対応するため、阪神高速湾岸線や府道大阪臨海線が整備されています(図-1.22 参照)。

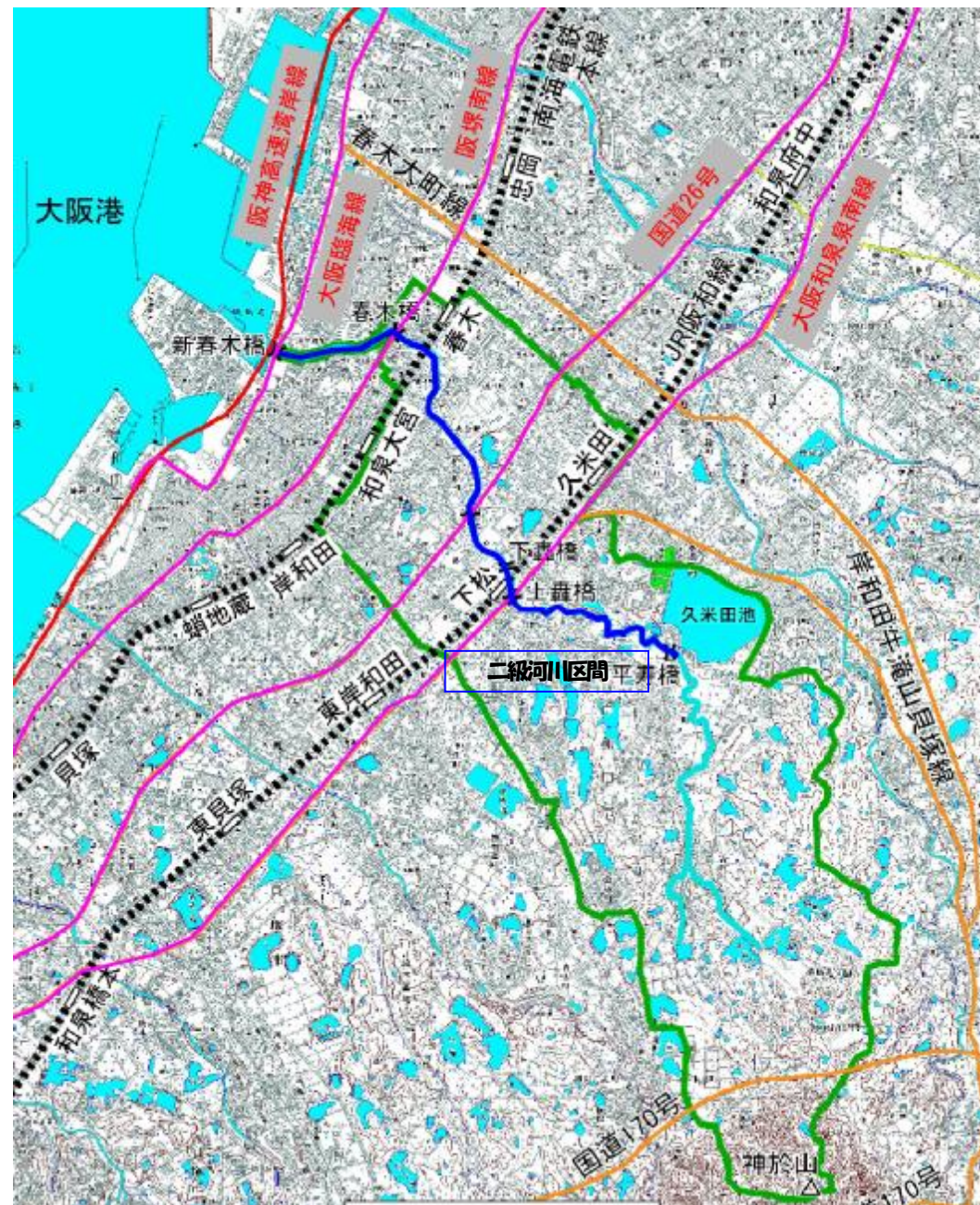


図-1.22 岸和田市の交通網図



南海電鉄本線



JR 阪和線



国道 26 号



阪神高速湾岸線

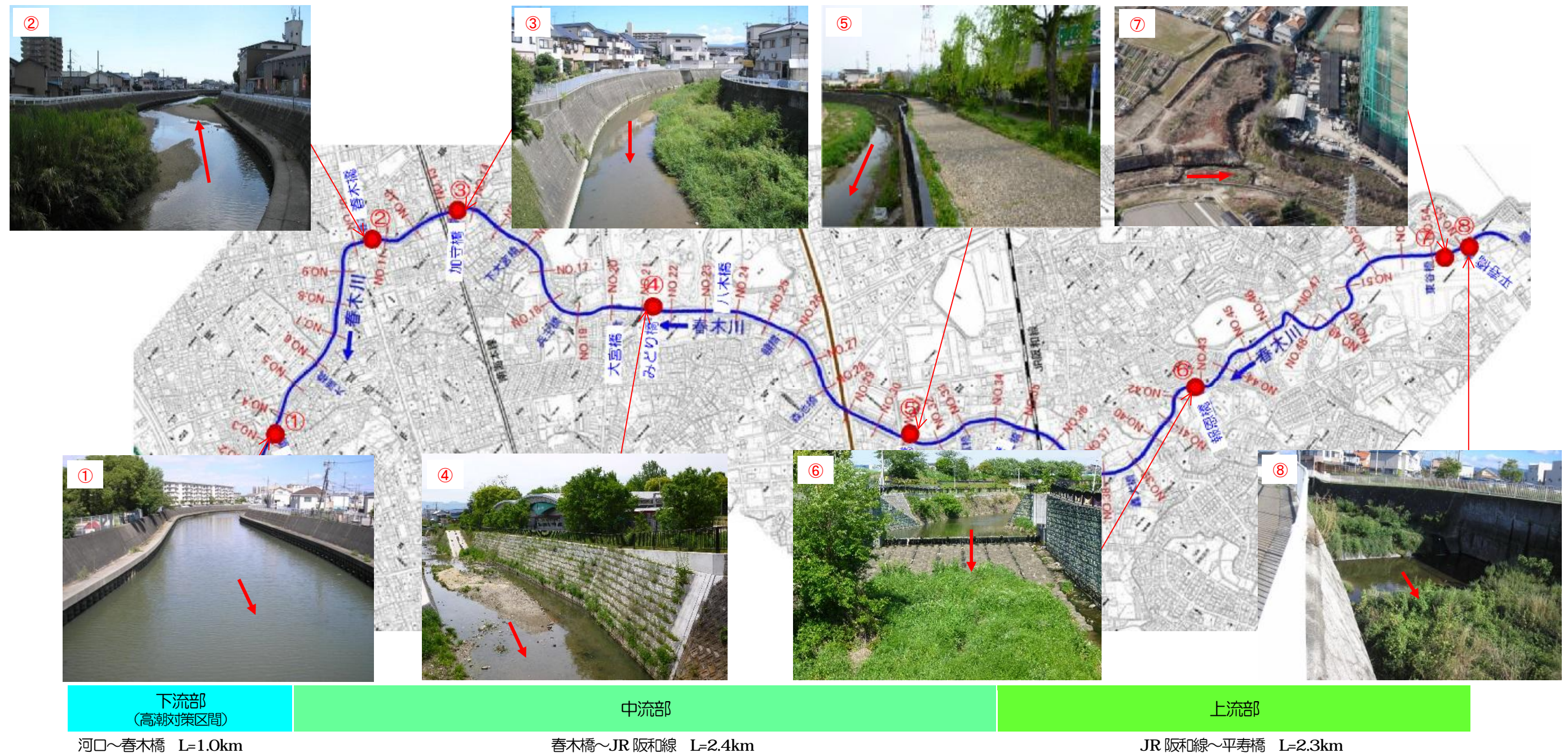
図-1.23 春木川流域の主要交通

3. 河川の特性

感潮区間である下流部は、河口～春木橋までの約**1.0km**の区間で、ここまでが高潮対策区間となっています。この区間は、工場や住宅が密集している市街地を流れています。高潮対策区間では、兩岸とも鋼矢板護岸の上部にブロック積及び擁壁で構成された防潮堤防が整備されており、川幅は**20～30m**、河床勾配は**1/1000～1/500**程度の単断面河道で、流れはほとんどありません。河道内の植生はほとんど見られない状況です（図-1.24 ①②参照）。河床材料は、シルト質の砂が中心です。

中流部は、春木橋～JR 阪和線までの約**2.4km**区間で、住宅地を流れています。当区間は河川管理用通路と一部隣接する市道を利用した春木川緑道が整備され、更に中央公園内を貫流するなど、沿川は緑が多いエリアとなっています。河道は、兩岸ともコンクリートブロック積護岸の単断面河道で、みどり橋付近には、緑化ブロックなど環境に配慮した護岸を整備しています。川幅は**18～20m**、河床勾配は**1/300**程度、河道内は、瀬や淵が形成され、植物が繁茂しています（図-1.24 ③④⑤参照）。河床材料は、砂が中心です。

上流部は、**JR 阪和線～平寿橋**までの約**2.3km**区間で、住宅地や農地を流れています。また、2箇所²⁾の旧川²⁾部が残っており、河畔林などの自然環境が残っています。また、久米田池や久米田古墳群など歴史的資産が多く見られます。兩岸ともコンクリートブロック積護岸で、川幅は**11～18m**、河床勾配は**1/300**程度です。河道内には瀬や淵が形成され、植物が繁茂しています（図-1.24 ⑥⑦⑧参照）。河床材料は、やや粒径の大きい砂が中心です。



²⁾ 旧川：蛇行する河道を付け替えた際に残る元の河道

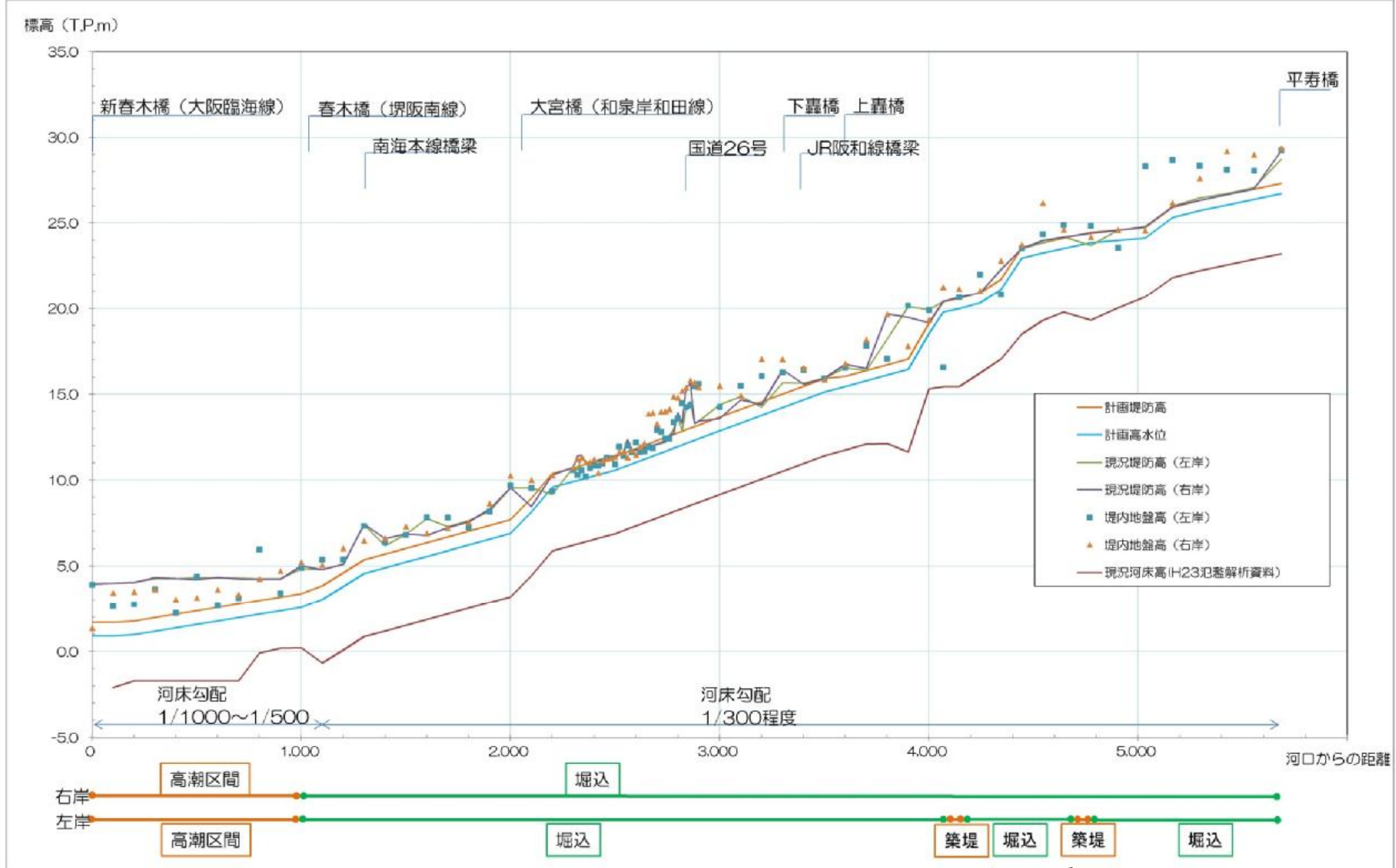


図-1.25 春木川縦断図

川沿いの農地一枚のみ低い箇所あり

出典 「H23年度春木川外河川氾濫解析検討業務」資料を基に作